

活動レポート

手話サークル周南 ひまわりの会

緑綬褒章受章!



今回は、今年5月に緑綬褒章を受章された、手話サークル周南ひまわりの会代表宗正邦子さんにお話を伺いました!

◆緑綬褒章受章おめでとうございます。感想はいかがですか?

とても驚きましたが、山口県内初の手話奉仕団体として昭和44年に設立してから、40年間活動してきたことが認めただけなのかなと思っています。

◆普段どのような活動を?

毎週金曜日に周南市徳山社会福祉センターで、会員とろう者が参加して手話を楽しく勉強しています。これは会設立当初から行っているもので、第一金曜日のみ、時事的なものをテーマとした学習をしています。7月は参議院選挙がありましたので、参議院の仕組みから投票の仕方まで詳しく勉強しました。

第二金曜日以降は、ゲームをしたり、雑談をしたりしながら気軽に手話を学んでいます。手話を覚えるのも目的の1つですが、ろう者の人と交流を深めることを大事にしています。



毎週金曜日の定例会の様子です

◆手話をするうえで、大事なことは?

手話はろう者との会話の手段ですが、手話を覚えただけではその人の感情、気持までは伝えきれません。その環境を知らないと、なぜそう思うのかが理解できません。そういった意味で、手話を勉強するにはろう者と普段から接し、信頼関係を築くことが大事です。



また、こちらから伝える場合にも、情報を正しく伝えることが必要です。その人が知らない単語を繰り返し手話で言っても意味がありません。そのようなときは、単語を使わず、様々な表現を用いて伝える力が必要となってきます。

そしてどちらの場合も、最後に正しく意図が伝わったかどうかの確認をすることを心がけています。



年1回行事のいちご狩りです。

◆これからしていきたいことは?

ろう者は、さまざまな情報を間違った認識・解釈で得たり、情報そのものを得ることが出来なかつたりして、疑問をもったままだったり、他の人から誤解を受けることが多々あります。そのようなときに、私たちの会が、もっと多くのろう者が気軽に相談できる場になればと思っています。

健常者に対しても、ろう者の実情を知ってもらい、誤解をなくす努力をこれからも続けていきたいです。そして、皆が手話を知り、いつか手話を使うのが当たり前の世の中になれば、と願っています。



代表 宗正 邦子さん
「ひまわり」を手話で表現していただきました!

【問合せ先】
手話サークル周南 ひまわりの会
Tel/Fax 0834-31-5639